

第56回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会 大会要項

ver20210921

- 主催 日本学生自転車競技連盟
共催 公益財団法人日本自転車競技連盟
運営協力 山梨県自転車競技連盟
協賛 公益財団法人JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社パールイズミ (順不同)
- 期日 2021年10月24日(日) 8時30分 競技開始
会場 山梨県笛吹市 境川自転車競技場(400m)
- 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した東日本の新人学生選手による種目別優勝者を定める大会とする。
- 競技種目 男子:スプリント、1kmTT、4kmIP、ポイントレース、ケイリン
女子:スプリント、500mTT、3kmIP
- 参加資格 1. 当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録競技者のうち本連盟登記選手で、その加盟校の所在地が静岡県、長野県、新潟県以東で、かつ、本連盟選手登記期間が2年以内の者。
2. 参加種目は、男子は1名1種目、女子は1名2種目までとする。
3. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
4. 尚、本大会参加選手並びにチームスタッフについては、PCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを参加条件とする。本大会開催当日までに報告がない場合はその選手並びにチームスタッフの参加を認めない。PCR検査の結果報告の方法についての詳細は別途発表するコミュニケーションを参照すること。また、参加選手並びにチームスタッフは、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
5. 本大会参加各校については、エントリー選手数(男女合計)に応じて、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。エントリー10名~15名で1名、16名~25名で2名、26名以上で3名とする。供出役員に審判ライセンスの有無は問わない。但し、PCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告すること。なお、供出役員については1名につき3000円までのPCR検査費用を補助するが、大会当日の開門時間前に大会会場に集合する事を必須条件とする。(交通費の支給は行わない)。また、供出役員の氏名等をエントリー用紙に記入すること。供出役員は出場選手と同様に大会開催14日前からの体調・体温の記録を提出可能とすること。エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。尚、変更後の供出役員の体調・体温の記録も同様に提出可能にし、PCR検査を行い、当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを条件とする。尚、詳細については別途発表するコミュニケーションを参照すること。
- 参加申込 1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで申し込むこと。参加料は、1名につき4,000円とする。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に別ファイルにして添付すること。エントリー用紙に写真データを埋め込まないようにすること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。また、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、選手は当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
2. エントリー申込期限および参加料納入期限は9月27日(月)までとする。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて事務局宛、期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。概ね大会開催2~3週間前を目処に本連盟ウェブサイトにて受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。
3. 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について振込元に大会コード1024と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687412 口座名義 日本学生自転車競技連盟
4. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
5. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合は参加料は返却しない。
- 会場入場 1. 本大会は無観客大会とする。また、大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者はPCR検査を受け、当日に陰性もしくは低リスクであることを当連盟に報告することを入場の条件とする。当日までに陰性もしくは低リスクであることを証明することができない場合は、そのチームスタッ

フ、メディア関係者、その他の関係者の入場は一切認めない。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手数+1名をスタッフ数の上限として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大2名までとする。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可しない。また、チームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可されるが、その人数についてはJCF規則の他、コミュニケにて人数を制限する。
3. チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降、特に大会当日の検温および入場資格チェックの際におけるスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすること及びPCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを変更・追加の条件とする。
4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。また、選手の参加資格4.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して大会当日に大会本部に提出して頂く必要があるとともに、PCR検査を受けて大会当日に陰性もしくは低リスクであることを証明することができるようにすることが必要です。証明することができない場合は、競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。

選手受付

1. ライセンスコントロールは事前データ上でを行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付場所にてゼッケンを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. 参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けることができる。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。また、レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイク・インスペクションを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

賞典・式典

3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
1. 表彰式は時程表に従い、第3位以上のみ競技場内で行う。開会式・閉会式については、時間・場所・式進行上の注意等など別途発表のコミュニケにて詳細を確認すること。
2. 男子の第3位以上の選手には賞状と賞品を授与する。第4位～第8位には賞状を授与する。(但し、ケイリンについては第4位～第6位までに賞状を授与する) 女子の第1位には賞状と賞品を授与する。第2位～第3位には賞状を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則

JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない。
<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

事務局

日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 (兼大会当日緊急連絡先) Fax 03-6804-2329

特 別 規 則

第1条 (スプリント) 男子は、予選タイム上位8名が1/4決勝に進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。女子は、予選タイム上位4名が1/2決勝に進出する。

第2条 (4kmIP, 3kmIP) 男女とも決勝のみとする。追い抜きがあった場合でも、両名とも完走しタイムを計時する。

第3条 (ポイントレース) 予選10 km、決勝24 kmにて行う。

第4条 (ギア比制限) ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。

第5条 (チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議)

2021年10月21日(木) 20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督/代表者、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。尚、無断欠席の学校に対してはペナルティを科す。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者E-mailアドレスに送付します。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。